

衣笠

第500号

June.2026

2026年6月1日発行



わたしの兄弟である
この最も小さい者の一人にしたのは
わたしにしてくれたことなのである

マタイによる福音書 25章40節



社会福祉法人
日本医療伝道会
衣笠病院グループ
Japan Medical Mission
<https://www.kinugasa.or.jp>



副理事長就任のご挨拶 人は一生、育ち続ける — 衣笠で育まれる「全人」の SPIRIT

日本医療伝道会 副理事長 田口 努

長年 YMCA で、知性・心・体・魂をまるごと育む「全人教育」に携わってきました。縁あって現在は「全人医療」を掲げる衣笠病院グループの副理事長を拝命いたしました。

場所は変わりましたが、私の根底には心理学者エリクソンの「人は一生を通して育ち続ける」という視点があります。YMCA 時代に、発達障害支援や子育て支援でお世話になり、この考えを日本に広めた児童精神科医の佐々木正美さんは、誰かに丸ごと受け入れられ、誰かの役に立つという「つながり」の安心感こそが、人生の終わりに自分を肯定する力になると語っていました。

病や衰えに向き合う医療現場こそ、その人の尊厳を丸ごと受け入れるキリスト教的人間観が求められます。YMCA で、人々が互いの喜びを分かち合い、全人として成長する姿を目の当たりにしてきました。患者様お一人ひとりの人生に寄り添う現在の働きも、根っこは同じかと思います。病気や能力という一部ではなく、その人の人生という物語の全体を大切に「全人医療」を追求したいと考えています。

着任して一か月。毎朝の礼拝で「全人」の在り方を考え、患者様やご家族の「賜物（たまもの）」を輝かせようと尽力するスタッフの姿に接しています。その働きを通して、職員自身の賜物も輝きを増すよう祈りつつ歩みたいと思います。地域との温かなつながりの中で、誰もが穏やかに微笑んで人生を歩めるよう、そんなコミュニティの形成につながるよう努めていきたいと思ひます。

プロフィール

福島県いわき市出身

1979年 財団法人 横浜 YMCA 入職

1991年～2000年 横須賀 YMCA

2009年 公益財団法人 横浜 YMCA 代表理事、総主事

社会福祉法人 日本医療伝道会 理事

2020年 公益財団法人 日本 YMCA 同盟代表理事、総主事

その他経歴

社福) 横須賀基督教社会館理事 (1999年～)

社福) あまね理事 (2002年～)

社福) 日本キリスト教奉仕団理事 (2008年～)

学校) 信栄学園 (いわき平教会・平幼稚園) 理事長 (2020年～)

社福) 賛育会監事 (2023年～)

2 | ～広報誌「衣笠」第500号発刊を迎えて～
日本医療伝道会 理事長 古屋 修身

3 | 病棟機能紹介①急性期看護課
～あたたかなチーム医療で、
ホッと安心できる急性期病棟～

4 | 長瀬デイサービスの思い出
長瀬ケアセンター 鹿野 智子

5 | 衣笠病院グループ歴史館 第9回
衣笠病院の源流 (その9)
日本医療伝道会 監事 阿部 誠
新任チャプレン紹介
チャプレン室長 吉住 高志
今月の聖句
チャプレン室長 吉住 高志

6 | 新入職員紹介

7 | 薬剤 DI ニュース Vol.3
肺炎球菌ワクチンの定期接種について
衣笠病院 薬剤科
フレイル予防のための運動
衣笠病院 リハビリテーション技術科 理学療法士 鈴木 遥

8 | 介護用品・福祉用具 どうやって利用? 第5回
定年を迎えた皆様
編集後記



2026年2月21日 ボランティア感謝会 職員熱演!!



～広報誌「衣笠」 第500号発刊を迎えて～

日本医療伝道会 理事長 古屋 修身

日本医療伝道会 衣笠病院グループの広報誌「衣笠」がお陰様で記念すべき500号の発刊となりました。第1号は1968年にB5版4頁の白黒印刷でした。第1号の冒頭に「衣笠の発刊に際して」と末包敏夫理事長は衣笠病院の歩むべき使命、決意を記載していますので、その文章から一部抜粋致したいと思います。

『今まで、病院は拡張発展してきたが、1960年1月6日夜、思いもよらぬ火災のために、瞬時に病院施設の大半を焼失し、しかも不幸にも16名の尊い生命を失う惨事にあつた。すべてを失って再建復興することなど思いもよらぬことであつた。唯々尊い多くの人命を失うた事に対する自責とお詫、神と人の前に罪の宥しを乞うのみであつた。あらん限りの誠意を尽くして遺族の方々の慰藉につとめた。不思議にも我々病院側の心が遺族の方々に通じたのか理解と寛容が示され、悲しみはかえって病院と患者、地域の人々を深く結びつける結果になった。地域の人々からも再建の要望が寄せられた。一時は再建復興など不可能と思っていた理事会も、こうした内外の熱心な要請に応じて、復興に立ち上がる決意を固めた。』

「衣笠」発刊と「衣笠病院福祉医療後援会」の歩み

1947年 8月 1日	日本基督教団衣笠病院開院
1952年 5月 17日	「社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院」に組織変更
1953年 4月 11日	衣笠病院教会落成献堂式
1960年 1月 6日	午後9時 火災発生 131床消失 入院患者14名（うち新生児8名）見舞い客1名 看護師1名 計16名が死亡
1961年 1月 6日	罹災1周年追悼式 横須賀市社会福祉協議会により、殉職看護師 青嶋ミチヨ顕彰碑建設
9月	復興募金開始
1963年 1月 6日	衣笠病院復興ニュース発刊
1月 16日	復興支援会発足
1968年 10月 15日	機関紙「衣笠」第1号発刊
10月	復興支援会を解散し「衣笠ホーム建設後援会」結成
1970年 7月 10日	特別養護老人ホーム開園
1977年 10月 25日	衣笠ホーム建設後援会を解散し衣笠病院老人医療福祉センター後援会結成
1986年 11月 20日	衣笠病院老人医療福祉センター後援会が「衣笠病院福祉医療後援会」に名称変更
2002年 4月	「衣笠」第390号よりこれまでのB5版からA4版に変更

広報誌「衣笠」は1963年1月に発刊された「衣笠病院復興ニュース」の後を継ぐように、1968年10月に発刊が開始されました。火災による尊い生命が犠牲となった罪を宥されて、以来、広報誌「衣笠」においては、地域医療に必要として頂いた衣笠病院の再建の動きを重点的に記載しています。また、今では近隣教会の紹介、衣笠病院グループ福祉医療後援会の活動と病院グループに対する貴重なご寄付の報告をさせて頂いております。これからも、全てを支えられ導かれる神様に守られ、皆様に支えられた日本医療伝道会衣笠病院グループの歩みをお伝えして行ければ幸いです。



病棟機能紹介……①急性期看護課

～あたたかなチーム医療で、ホッと安心できる急性期病棟～

私たちは、手術室と急性期病棟が一つになった部署です。それぞれが積み重ねてきた専門性を持ち寄ることで、患者さん一人ひとりの状態や生活背景に合ったきめ細やかな看護・ケアを提供しています。

肩胛ヘルニアや眼科・泌尿器科など日常生活をより快適に過ごすための手術、思わぬ怪我による緊急の治療まで、幅広い手術に対応しています。手術前・手術中・手術後まで一貫して関わることができるのは、手術室と病棟が一つのチームだからこそのです。

どんな手術も、その方にとっては人生の大きな出来事です。私たちはその重みを忘れず、手術室で寄り添う瞬間も病棟で回復を見守る日々も、患者さんに「ここなら安心できる」と思っただけの存在でありたいと考えています。不安や緊張でいっぱいの手術前も回復への一步を踏み出す手術後もスタッフ全員で患者さんやご家族を支えています。手術に関する疑問や不安は、どうぞお気軽にお尋ねください。

また、肺炎や感染症による急な体調変化で入院が必要な方も多くお受けしています。急性期病棟というと、治療中心の短期入院をイメージされるかもしれませんが、私たちの役割はそれだけではありません。横須賀では高齢夫婦の世帯や一人暮らしの高齢者の方が多くいらっしゃいます。例えば腰の

圧迫骨折など、一般的には自宅安静でよいとされる場合でも、一人では食事やトイレが困難なことがあります。そういった方が安心して入院し、リハビリをしながら自宅へ帰る準備を整えられるようしっかりと支援しています。認知症の方やがんの患者さんが自宅での生活が難しくなったときも、どうすればその人らしく過ごせるかを一緒に考え、退院支援チームと連携して困りごとを解決できるよう取り組んでいます。管理栄養士による食べやすい食事の提供や、歯の問題には歯科衛生士との連携など、多職種が力を合わせて患者さんやご家族を支えています。

スタッフ同士が気軽に声をかけ合える、アットホームな職場です。子育て中のスタッフも多く、互いに支え合いながら無理なく働ける環境が整っています。新しく加わったスタッフも経験豊富な仲間に支えられながら着実に成長できる環境です。これからも地域に根差した急性期病棟として、患者さんやご家族が安心して治療を受けられるよう、そして住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、チーム一丸となって支援してまいります。





長瀬デイサービスの思い出

長瀬ケアセンター 鹿野 智子

2026年3月31日にて通所介護(デイサービス)は23年間の歴史に幕を下ろしました。

2002年12月16日(月)通所介護(デイサービス)の開設当日はご利用者が10名弱だったかな?とご利用者から伺ったことがあります。

といいますのも私の入職は2004年4月だったため当時の様子は分かりません。開設に関わった方々がどのような苦労をされたのか未知の話ですが、きっと新しい事を始めるという事はとてもパワーを要したことだったと思います。私が入職した頃には既に50～60名程の方がご利用されており、その4年後2008年には過去最多となる80名を超えとなり、広いはずのフロアーの往来がスムーズに行うことが出来ない。トイレ渋滞が生じ、何をするにも時間内に終わらず、帰宅時間に間に合わないかもと気が焦りながら過ごした事を思い出します。そんな中、当時の所長からお祝いとして、苺のホールショートケーキの差し入れがありました。当時職員数も多くどの様にカットすれば全員に苺を分配出来るかと、短い昼休みに一同集まり右往左往しながら楽しく過ごしお腹も心も満たされ、午後の活力に繋がったことは楽しい思い出です。

昨年12月末にデイサービス閉鎖が決まりましたが、最後まで笑顔で元気に過ごしてもらいたいと、ご利用者と一緒に花紙や折り紙を使い色々な種類のお花を作成。フロアーのいたるところに飾りつけを行い、玄関ホールにはご利用者とセンター全体の職員一同が記載した寄せ書きを始めました。

最後の一週間は「感謝会」として少しでも明るく笑顔で過ごせるようにと、景品付きのビンゴ大会に歌やハンドベルの演奏。寄付で頂戴していた衣類の品々をまるで旅行帰りのように紙袋いっぱいを持ち帰って頂きました。私の中で

は新たな旅立ちのイメージが日々強くなりました。2月28日(土)ご利用者受け入れ最終日には非番の職員も誰からともなく自然とフロアーに集まり挨拶。帰りの会で恒例となっている「民謡体操」に参加。とても大きな円となり元気に行い、帰宅の際には自席からエレベーターに乗るまでの職員による花道まで出来上がりました。

何度かの介護保険法改正、2011年3月11日東日本大震災の際生じた計画的停電、2020年以降の長く続いたコロナ禍対応等、色々なことがありました。

市内には150件強のデイサービスの中から病院の先生に勧められ訓練が行えるデイサービスを探すことになった。衣笠病院グループだから安心。海を眺めることが出来る広い空間だから。と様々な理由で選んでくださったご利用者の方々は最終的には登録数延べ1843名(利用中止となった方も含む)にもおよびます。

又、最終まで在籍していた職員の大半は10年以上勤務していましたから、仕事は勿論のこと家族の悩みを打ち明けることが出来る大切な仲間となりました。

色々な偶然が重なった奇跡的な出会いをこれからも大切にしていきたいと思います。



「衣笠病院グループ歴史館」

第9回 衣笠病院の源流(その9)

⑩老人専門病棟・老人医療福祉センターの開設

1970年に開設した衣笠ホームの運営により老人医療が法人の課題として上がってきました。70歳以上の医療費は無料化となっていました。付添料・室料の負担が多くそれらを解消するために、県は県内各地に100床規模の老人病棟を整備することとなり、県補助事業として相模更生病院と衣笠病院が選ばれ、理事会は1973年に受諾決議し、老人医療福祉センターとして老人病棟100床・衣笠ホーム30床の増床（計80床）・在宅老人サービス施設の建設に入りました。1976年に老人病棟・ホーム増床感謝式が長洲一二県知事を迎えることが出来ました。老人病棟（現東館）は地上6階・

地下1階の病棟でありましたが、建築費の高騰で十分な資金調達を出来ない状況であったため、5・6階の内部は未整備の状況でありました。後援会はホーム建設後援会から老人医療福祉センター後援会と改称し、樋口宅三郎氏が引き続き会長となって、1万人キャンペーン募金を行ったところ、多くの献金が寄せられました。1977年には5・6階の整備も完了し、リハビリ施設もでき、全体で274床の病院となりました。この老人病棟竣工には後援会の協力、「資金が調わなくても工事を進める」と約束してくれた建設会社の協力への感謝は、忘れてはならないことであります。

（日本医療伝道会 監事 阿部 誠）

新任チャプレン紹介

チャプレン室長 吉住 高志



4月からチャプレン室長の任を受けました吉住高志と申します。

3月まで横須賀学院の聖書科教員でしたので衣笠病院グループは親しく覚えさせていただけてきました。しかし、医療、介護、福祉などの方面では働いたことも資格もなく、学んだことすらありません。いわゆる全くの畑違いです。しかし、神さまはここですることがあるとおっしゃっていると感じますので、できることが何かあるのだと信じます。まだそれが何なのかわかりませんが、皆様とお会いできたことに喜びを覚えています。その日その時を大切に、みなさまにとって少しでもお役に立つことができるなら幸いと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今月の聖句

チャプレン室長
吉住 高志

「究極の希望」

「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なされて、ここにはおられない。…」
婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。
そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。
（マルコによる福音書16章6, 8節）

4月5日はイエス様の復活を祝うイースターでした。死んだ人がよみがえるというのは、まったく信じられない、ありえないことなのですが、それを聖書は「だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである」と言っています。死というものは、誰にでもいつかは必ずくるものだわかっているがゆえに、それほど大きな恐怖なのです。復活したと、たとえ天使から聞いたとしても、そう簡単には信じることができない、人に言うことなど到底できるものではないほどのことです。

だからこそイエス様の復活は、それを信じることになった人たちがこんなに素晴らしいことはない、どんな人も必ず幸せな人生となると確信し、広められたのです。

究極の希望は、わたしたちもいつか復活するということです。永遠の命が約束されていることです。復活してイエス様の前に呼び集められ、これ以上ない平安で心が満たされると約束されていることです。

それがいつなのかは誰にもわかりませんが、その時には、完全なる神の国が実現するのです。この病院グループの創立の精神である、「最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたこと」はまさにそのことを示していると言えるでしょう。すべての人が喜んで心からそうしている世界が実現するとの神様の約束です。この究極の希望を覚えることができることは神様からの最大の恵みです。

新入職員紹介

衣笠病院 整形外科 医師 市川 翔太

4月より整形外科医として着任いたしました市川翔太です。地域医療を支える伝統ある当院の一員となれたことを光栄に思います。診療では、骨・関節・筋肉などの痛みに対し、最新の知見に基づいた適切な診断と、患者様の生活背景に寄り添った治療を心掛けています。皆様が住み慣れた地域で、一日でも長く健やかに動き続けられるよう、精一杯サポートさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

衣笠ろうけん 医師 緒方 一博

はじめまして、この度、衣笠ろうけんに入職いたしました、緒方一博と申します。私はこれまで横浜市大医学部・大学院医学研究科で生化学分野を主宰し、がんなどの生化学・創薬研究を行い、研究科長などもつとめてきました。退職後は国際医療福祉大での研究支援業務を経て、本施設にご採用いただきました。今後は臨床に加え、コメディカルの方々のご研究の支援もさせていただければと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

衣笠病院 回復期リハビリ看護課 小熊 夢乃

新採用職員として、報告・連絡・相談を徹底し、チームでの連携を大切にしていきたいと考えています。また、患者さん一人ひとりとのコミュニケーションを大切にし、安心して過ごしていただける関わりを心がけます。挨拶や態度など基本を意識し、時間管理や業務内容の理解を深め主体的に学びながら成長し、患者さんやそのご家族に寄り添い、信頼され安心感を与えられる看護師になりたいです。

衣笠病院 リハビリテーション技術科 野村 南歩

この度、衣笠病院グループの一員として勤務させていただくこととなり、大変光栄に思っております。理学療法士として、患者様の身体機能の回復だけでなく、心にも寄り添った関わりを大切にしていきたいと考えております。未熟ではありますが、日々努力を重ね、安心してリハビリを受けていただける存在を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

衣笠病院 臨床検査科 家泉 結菜

4月から臨床検査技師として勤務させていただくことになった家泉結菜と申します。私は正確で迅速な検査を行える臨床検査技師を目指しています。そのために日々学び続けることを大切にし、緊急検査技師などの資格取得を目指し頑張りたいと思っています。全人医療の理念に従い、温かく優しい皆様の一員として、患者さんに「来てよかった」と思っただけのように精一杯頑張ります。

衣笠ホーム 介護課 山田 耕治

介護職として20年の経験を積み、利用者様一人ひとりの思いや生活背景を大切にまいりました。日々のケアにおいては、安全と安心を基本とし、観察力と判断力を生かした対応に努めておりました。また職員同士の連携や情報共有を大切にし、チームで質の高いケアを提供することを意識してきました。これまでの経験を生かし、今後も利用者様に寄り添った支援に取り組んでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



肺炎は日本の主な死因第5位であり、主な原因は「肺炎球菌」です。

高齢になるほど重症化しやすく、体力低下や寝たきりの原因になることもあります。

ワクチンで感染や重症化を防げるため、現在、公費による定期接種が行われていますが、令和8年4月より、使用されるワクチンが、より長期間効果が持続するもの（プレベナー20）に変更されました。

対 象：過去に23価ワクチンの接種歴がない65歳の方など。

誕生月の上旬に市町村から予診票が届きます。

費 用：自治体の助成により一部負担（横須賀市の場合は4,000円）で1回接種が可能です。

当院の健康管理センターでも接種を承っております。
健康を守るため、ぜひお気軽にご相談ください。

（衣笠病院 薬剤科）



フレイル予防のための運動

衣笠病院 リハビリテーション技術科 理学療法士 鈴木 遥

今回は、フレイル予防の「栄養・運動・社会参加」3本柱のうちの“運動”についてお話しします。

たとえ高齢でも、積極的に体を動かすことで、筋力を維持・向上できることが分かっています。フレイルを予防するためには、まず足腰の筋力を維持して「動ける」体でいること、その為にできるだけ「動く」ことが大切です。また運動には認知機能低下予防の効果が高いことが分かっています。

体を動かす筋を維持するためには、体を動かして足腰の筋肉や関節・骨に適切な負荷を与える必要があります。そのための運動として、ウォーキングや水泳などの有酸素運動のほか「歩く」「立つ」「座る」などの日常生活に必要な動作の基本となる「足腰の筋力」を鍛える筋力トレーニング（筋トレ）が重要です。自分にあったペースで、これらの運動を習慣にして続けていきましょう。

足腰の筋力を維持する為には、水泳やウォーキングなどの有酸素運動と筋トレを併用することが大切です。

ウォーキング：10分～30分、出来れば1日に2回程度

軽い息切れ 話せるけど歌えない程度

筋トレ：週に2～3回程度。スクワット、立ち座り反復、膝伸ばし、腿上げ等



運動内容の目安になっています。それぞれの生活習慣に合わせて、継続可能な運動メニューを実施するようにしてみてください。

第5回 介護用品・福祉用具

どうやって利用？

今回は「体位変換器」について 柴橋商会 横須賀営業所 上田 晃義さんにお話をうかがいました。
(ケアマネジャー 渡邊 美智子)

体位変換器とは、自力での寝返りが難しい方の身体の下に差し込み、仰向けから横向きへの変更（体位変換）を容易にするための道具です。

単に姿勢を保つだけでなく、「動かす」ことを助ける機能（てこの原理や空気圧、滑りやすい素材など）を備えているのが特徴です。

体位変換器を使う3つの大きなメリットとして、

①褥瘡（床ずれ）の予防：同じ部位に圧力がかかり続けるのを防ぎます。

②身体機能の維持：血液循環の改善や、肺などの呼吸機能への負担を減らす効果があります。

③介助者の負担軽減：力任せに持ち上げなくて済むため、腰痛などのリスクを抑えられます。

主な種類として、①クッション・パッド型②スライドシート・グローブ型③動力型（自動体位変換マットレス）があります。

体位変換器は、介護保険のレンタル対象（福祉用具貸与）で、要介護2以上の方が対象です。導入を検討される際は、担当のケアマネジャーや福祉用具専門相談員に相談し、実際に試用してみるのが一番の近道です。



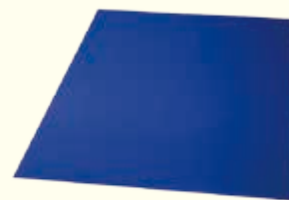
ナーセントパッドA

身体の下に差し込んで横向きの姿勢を安定させます



スモールチェンジラグーナ

マット内部が膨張・収縮し、自動で身体を傾けてくれるエアマット



スライドシート

身体の下に敷くことで、軽い力でスライドさせて向きを変えられます

定年を迎えた皆様

あなたの出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるように。
今も、そしてとこしえに。

詩編 121:8

3月31日に定年職員退任式における記念写真

6名の方が定年を迎えられ、

4名の方(写真前列)が式に出席されました



編集後記

「梅雨」という言葉は、梅の実が熟す時期に降る雨に由来すると言われてい

ます。
まさにこの時期になると、スーパーなどの店頭で青梅が並び始めます。毎年「梅仕事」という言葉にあこがれ、梅シロップ作りに挑戦してみたいと思いつつも、

なかなか実行できずにいました。しかし今年こそは！と、意気込んでいるところです。梅に含まれるクエン酸は、暑い時期の水分補給や夏バテ対策に役立つといわれています。手作りの梅シロップで季節を感じながら、日々の体調管理にも繋がっていかれたらと思います。今年も猛暑が予想されていますので、皆様もどうぞ体調に気をつけてお過ごしください。

(M.S)

「衣笠」No.500

2026年6月1日発行

発行人 古屋 修身

発行 社会福祉法人

日本医療伝道会衣笠病院グループ
〒238-8588 横須賀市小矢部 2-23-1
TEL. 046-852-1182 (代表)

郵便振替口座 00220-2-13963

編集 社会福祉法人日本医療伝道会
広報委員会

印刷 (株)ポートサイド印刷

